

事業 011	事務名 バス待合所等管理費 (地域交通対策費)	担当部署	部名 市民環境部
		課名 生活安全課	電話 52 - 7966
事業期間	開始年度 平成 8 年度	終了年度 -	会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち	
	政策名(章)	第 2 章 快適で利便性の高いまちづくり	
	施策名(節)	第 3 節 公共交通網の整備	
	実施計画掲載	頁	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象 誰を・何を	市民(二口、錦町地区)
	意図 どのような状態に	屋根付きバス待合所とトイレを整備することにより、バス利用者の安全と利便性を確保する。
事業内容	手段 どのような方法で	・二口バス停 ふたぐち地域振興会に清掃及び日常管理業務を委託 ・錦町バス停 社会福祉法人射水福祉会に清掃及び日常管理業務を委託

補助金事業	類型区分	
	補助内容	補助区分 算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)

施設管理運営事業	施設名	管理形態	
		指定管理者名	
	構造・階数	指定管理期間	
	建築年度	改修年度	類似施設状況
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況
設備・規模			

施設等整備事業	総事業費	財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	011	事務事業名	バス待合所等管理費	担当課	生活安全課
----	-----	-------	-----------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H23年度実績	H24年度			H25年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	下水道使用料(二口バス停)	m ³	79	50	18	36.0	50
	下水道使用料(錦町バス停)	m ³	574	150	116	77.3	150
活動指標	錦町バス停 定期的な日常清掃(月、木)	日	102	102	102	100.0	105
	錦町バス停 年1回の特別清掃(9月)	回	1	1	0	0.0	1

		平成23年度決算	平成24年度決算	伸率	平成25年度予算
事業費・人件費	直接事業費	449 千円	235 千円	47.7	374 千円
	うち臨時職員人件費	千円	千円		千円
	正規職員人件費相当額	1,020 千円	1,020 千円	0.0	1,020 千円
	退職手当引当金相当額	143 千円	143 千円	0.0	143 千円
	事業コスト計	1,612 千円	1,398 千円	13.3	1,537 千円
	財源内訳	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	1,612 千円	1,398 千円	13.3	1,537 千円
当該事務従事職員数	正規職員	0.15 人	0.15 人	0.0	0.15 人
	臨時職員	人	人		人
	利用者1人当たりコスト	-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説明
必要性	1	両バス停とも加越能鉄道(株)のバス停であり、乗降客数は決して多くはない状況であるが、公衆トイレは恒常的な利用があり、気軽に立ち寄れる地域の待合所としての役割を担っている。
有効性	2	市コミュニティバスのバス停はないが、錦町バス停はデマンドタクシーの乗降場所として活用されており、さらに多くの利用者に活用されるよう便利で清潔な施設の管理運営を行っていく。
達成度	3	日常清掃及び年1回の特別清掃を引き続き実施するとともに、施設の老朽化に伴う修繕等を行い、安心して利用することができる施設運営を行っていく。
効率性	3	錦町バス停については、平成22年度まで民間清掃業者に清掃・管理業務を委託していたが、平成23年度から社会福祉法人射水福祉会に委託することにより、コストの低減を図っている。

評価結果(1次)	C	事業規模・内容の見直し又は実施主体の見直しが必要	評価結果(2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
バス及びデマンドタクシー利用者の利便性を確保し、地域のニーズに対応するため、清掃及び修繕管理を引き続き実施し、清潔で安全安心に利用できる施設運営を行っていく。				

事業 012	事業名 コミュニティバス運行費	担当部署	部名	市民環境部			
			課名	生活安全課			
			電話	52 - 7966			
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-		
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 快適で利便性の高いまちづくり				款	総務費
	施策名(節)	第 3 節 公共交通網の整備				項	総務管理費
	実施計画掲載	無	個別計画			目	地域交通対策費
根拠法令・要綱等		道路運送法					

事業目的	対象	誰を・何を	全市民				
	意図	どのような状態に	市民の移動手段を確保する。				
事業内容	手段	どのような方法で	・バス事業者に運行を委託				

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度	改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積			民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費			財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成23年度		平成24年度			平成25年度		

その他	特記事項等								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業	012	事務事業名	コミュニティバス運行費	担当課	生活安全課
----	-----	-------	-------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H23年度実績	H24年度			H25年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 (コミュニティバス乗車人数)	人	409,278	425,000	404,132	95.1	420,000
活動指標	さらなる利便性の向上を図るため、ルートやダイヤの見直しを実施する	路線	10	11	11	100.0	5

		平成23年度決算	平成24年度決算	伸率	平成25年度予算	
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費	188,777 千円	186,503 千円	1.2	207,500 千円
		うち臨時職員人件費	千円	千円		千円
		正規職員人件費相当額	11,764 千円	11,560 千円	1.7	13,600 千円
		退職手当引当金相当額	1,644 千円	1,615 千円	1.7	1,900 千円
		事業コスト計	202,185 千円	199,678 千円	1.2	223,000 千円
		財源内訳	国 県 支 出 金	30,461 千円	24,388 千円	19.9
	そ の 他	1,013 千円	933 千円	7.9	1,160 千円	
	一 般 財 源	170,711 千円	174,357 千円	2.1	192,782 千円	
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	1.73 人	1.70 人	1.7	2.00 人
		臨時職員	人	人		人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.49 千円	0.49 千円	0.0		
	うち一般財源ベース分	0.42 千円	0.43 千円	3.4		

評価項目	点数	説 明
必要性	3	高齢化が進展する中、移動制約者の移動手段確保のため、必要な事業である。
有効性	3	今後も、社会経済情勢の変化に対応した柔軟な見直しが必要である。
達成度	3	さらなる利便性の向上を図るため、ルートやダイヤの見直しを実施した。
効率性	3	今後も、社会経済情勢の変化に対応した柔軟な見直しが必要である。

評価結果 (1次)	C	事業規模・内容の見直し又は実施主体の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>今後も引き続き、社会経済情勢の変化に対応するとともに、費用対効果も考慮に入れた柔軟な見直しが必要である。</p>				